

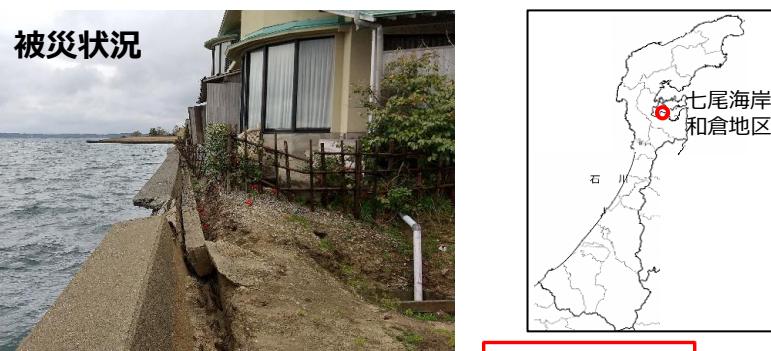
和倉温泉の護岸復旧

地震により、能登観光の中心的拠点である和倉温泉では、旅館等が所有する民有護岸や七尾市管理の護岸等が広範囲に被災しました。復旧にあたっては、護岸と旅館が近接し、技術的に高度な検討を要することや、民有護岸における多大な復旧費用が被災した旅館等の負担になることなどが課題となりました。

このため、和倉温泉観光協会や国、県、市等が参画する「和倉温泉護岸復旧会議」において、昨年9月に復旧方針をとりまとめ、この中で、自力での復旧が困難な民有護岸については、和倉港の港湾区域外は県、港湾区域内は市に公共帰属し、県と市で復旧を行うこととなりました。このうち港湾区域内については、国が市に代わって復旧工事を進めています。

引き続き、地元観光協会や国、市等の関係機関と連携し、早期の復旧を目指してまいります。

護岸の復旧区分

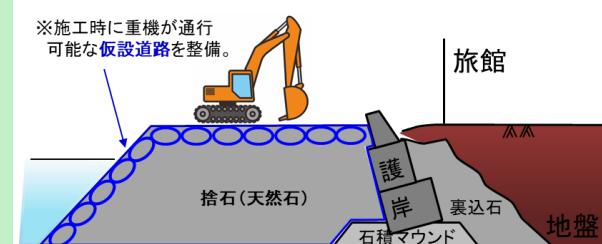


護岸復旧のポイント

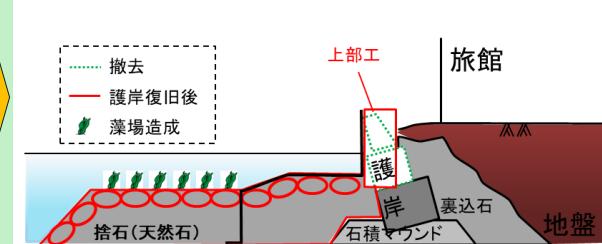
和倉温泉護岸復旧会議で、護岸復旧のポイントをとりまとめました。

- 1日も早いなりわい再生**
旅館の建物復旧と並行して海側から護岸工事を進めるため、重機が通行可能な**仮設道路を整備することで出来る限り工事期間を短縮**
- 和倉温泉の魅力の維持**
復旧後の旅館からの眺望に配慮し、**復旧する護岸の位置・高さは被災前と同じとすることを基本に**
- 周辺環境への配慮**
魚が生息しやすい海洋環境を構築し、水産振興に寄与するため、仮設道路の整備には天然石を活用し、**護岸工事完了後に藻場を造成**

護岸復旧工事の施工中イメージ



護岸復旧後のイメージ



復旧・復興のトピックス

和倉温泉の護岸の復旧工事に着手しました。
(国代行区間：12月20日～、県施工区間：2月3日～)



① 仮設道路の施工状況
(国代行区間)



② 資材の搬入状況
(県施工区間)